

本資料は、報道機関向け発表資料を転載したものです。商品ご購入のご検討にあたっては、必ず商品パンフレット・「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「ご契約のしおり/約款」「特別勘定のしおり」などをご覧ください。



## News Release

TSX/NYSE/PSE: MFC SEHK: 0945

報道ご関係者各位

2009年2月13日

### 2008年度第3四半期報告

経済環境の影響を受けつつも堅固な財務基盤を維持、個人保険新契約実績は伸展

マニユライフ生命保険株式会社（社長兼 CEO：クレイグ・ブロムリー、本社：東京都調布市）の2008年度第3四半期（2008年4月～12月累計）業績をお知らせいたします。

2008年4月～12月期においては、2007年からスタートしたMGA<sup>\*1</sup>チャネルを通じた販売が引き続き拡大し、「終身ガン保険」等の個人保険販売が好調に推移しました。その結果、個人保険新契約年換算保険料は181億円となりました。2008年4月～12月期の個人保険・個人年金保険合算の新契約年換算保険料は426億円となっています。

一方収益面では、世界的な株式市場低迷の影響等から、2008年4月～12月期の基礎利益、経常利益、純利益は、それぞれ172億円、428億円、324億円の損失となりました。しかしながら、当社の運用資産ポートフォリオは、高い格付を有する公社債を中心に構築した堅実なものであり、依然として堅固な財務基盤を維持しており、ソルベンシー・マージン比率についても、2008年12月末日時点で916.6%と、充分な水準を保持しています。当四半期末現在の総資産は、1兆7,513億円となっています。

当四半期業績について、クレイグ・ブロムリー社長兼 CEO は、次のように述べています。

「世界的な金融危機の中で、当社にとって当四半期の業績は厳しいものとなりました。しかし、当社の財務基盤は依然として堅固です。業績面では、チャネルの戦略的多角化やお客様のニーズに沿った商品開発の推進等が奏功し、『終身ガン保険』のようなヒット商品を生み出すことができました。今後とも、堅実な事業運営を進めるとともに、お客様ニーズにお応えすべく最大限の努力を傾注していきたいと考えています」

\*1・・・MGAとは、北米市場において大型・独立代理店型の販売組織を意味するManaging General Agentsの略です。当社は2007年2月にMGA開発部を新設し、企業経営者や資産家等の富裕層の方々を中心に、日本において新しいタイプの代理店事業の構築を目指し取り組んでおります。

#### マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよびアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2008年12月31日現在4,045億カナダドル（3,303億米ドル）となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（[www.manulife.com](http://www.manulife.com)）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（[www.manulife.co.jp](http://www.manulife.co.jp)）



## 2008年度 第3四半期報告

### < 目 次 >

1. 主要業績	1
2. 資産運用の実績（一般勘定）	3
3. 四半期貸借対照表	7
4. 四半期損益計算書	8
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	11
6. ソルベンシー・マージン比率	12
7. 特別勘定の状況	13
8. 保険会社及びその子会社等の状況	14
（参考）第3四半期会計期間の業績	15

### <別添>

参考 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

※ 資料中、「第3四半期累計期間」は「4月1日～12月31日」を、  
「第3四半期会計期間」は「10月1日～12月31日」を表しております。

## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

#### ・保有契約高

(単位：千件、億円)

区 分	2008年度第3四半期会計期間末		2007年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個 人 保 険	633	42,220	638	43,398
個人年金保険	287	13,693	255	14,096
団 体 保 険	—	1,714	—	1,955
団体年金保険	—	132	—	154

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と、年金支払開始後契約の責任準備金及び個人年金保険に付加された特約の死亡保障額を合計したものです。ただし、個人変額年金保険については、保険料積立金の金額です。
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

#### ・新契約高

(単位：千件、億円)

区分	2008年度第3四半期累計期間			
	件 数	金 額		
		新契約	転換による 純増加	
個 人 保 険	71	3,668	3,767	△98
個人年金保険	38	2,537	2,537	—
団 体 保 険	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—

- (注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
2. 新契約の個人年金保険の金額は、新契約時の基本保険金額です。

## (2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末	2007年度末
個 人 保 険	98,028	90,009
個 人 年 金 保 険	140,166	121,020
合 計	238,195	211,029
うち医療保障・ 生前給付保障等	49,676	38,377

・新契約

(単位：百万円)

区 分	2008年度 第 3 四 半 期 累 計 期 間
個 人 保 険	18,106
個 人 年 金 保 険	24,560
合 計	42,667
うち医療保障・ 生前給付保障等	15,237

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）です。
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。
3. 年換算保険料（新契約）は、新契約に、転換による純増加を加えた数値です。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### （1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末		2007年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	13,967	2.4	21,172	3.3
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	6,940	1.2	5,174	0.8
有 価 証 券	454,386	76.5	500,830	78.2
公 社 債	224,983	37.9	275,937	43.1
株 式	36,902	6.2	57,270	8.9
外 国 証 券	187,425	31.6	167,566	26.2
公 社 債	187,165	31.5	167,065	26.1
株 式 等	260	0.0	500	0.1
そ の 他 の 証 券	5,074	0.9	56	0.0
貸 付 金	10,593	1.8	12,845	2.0
不 動 産	32,759	5.5	32,829	5.1
繰 延 税 金 資 産	19,110	3.2	9,911	1.5
そ の 他	55,978	9.4	57,665	9.0
貸 倒 引 当 金	△ 34	△0.0	△ 30	△0.0
合 計	593,702	100.0	640,400	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	47,722	8.0	29,683	4.6

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位: 百万円)

区 分	2008年度第3四半期会計期間末					2007年度末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
				うち差益	うち差損				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
責任準備金対応債券	133,003	118,287	△14,715	670	△15,386	144,744	144,981	237	2,434	△2,197
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	319,595	320,960	1,364	7,468	△6,103	359,689	356,988	△2,700	8,210	△10,911
公 社 債	185,233	191,052	5,818	6,492	△673	231,696	236,508	4,812	5,195	△382
株 式	38,147	36,092	△2,055	707	△2,762	63,558	56,631	△6,926	2,317	△9,244
外 国 証 券	89,749	87,246	△2,503	99	△2,603	62,323	61,143	△1,180	103	△1,284
公 社 債	89,197	86,986	△2,211	99	△2,310	61,772	60,643	△1,128	103	△1,232
株 式 等	551	259	△292	-	△292	551	499	△51	-	△51
その他の証券	5,000	5,050	50	98	△48	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1,464	1,519	54	70	△16	2,110	2,704	594	594	-
合 計	452,598	439,247	△13,351	8,138	△21,490	504,434	501,970	△2,463	10,645	△13,108
公 社 債	219,164	224,987	5,822	7,072	△1,250	271,125	276,126	5,001	5,637	△635
株 式	38,147	36,092	△2,055	707	△2,762	63,558	56,631	△6,926	2,317	△9,244
外 国 証 券	188,821	171,597	△17,223	189	△17,413	167,639	166,506	△1,132	2,096	△3,229
公 社 債	188,269	171,338	△16,931	189	△17,120	167,087	166,006	△1,080	2,096	△3,177
株 式 等	551	259	△292	-	△292	551	499	△51	-	△51
その他の証券	5,000	5,050	50	98	△48	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1,464	1,519	54	70	△16	2,110	2,704	594	594	-

(注) 1. 本表には、CD (譲渡性預金) 等、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものを含んでいます。

2. 「その他」はすべて、「金銭の信託」のうち売買目的有価証券以外のものです。

3. 上記の責任準備金対応債券に関連して、通貨関連のデリバティブ取引があり、その差損益は2008年度第3四半期会計期間末で4,372百万円、2007年度末で△3,920百万円であります。

・時価のない有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末	2007年度末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
そ の 他	—	—
責任準備金対応債券	1,106	1,106
子会社・関連会社株式	726	555
そ の 他 有 価 証 券	109	140
非上場国内株式（店頭売買株式を除く）	83	83
非上場外国株式（店頭売買株式を除く）	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	25	57
合 計	1,942	1,802

(3) 金銭の信託の時価情報

(単位：百万円)

区 分	2008年度第3四半期会計期間末					2007年度末				
	貸借対照表計上額	時 価	差損益			貸借対照表計上額	時 価	差損益		
			う ち	う ち				う ち	う ち	
金 銭 の 信 託	6,940	6,940	—	—	—	5,174	5,174	—	—	—

・運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	2008年度第3四半期会計期間末		2007年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運 用 目 的 の 金 銭 の 信 託	5,421	—	2,469	—

・満期保有目的・責任準備金対応・その他の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	2008年度第3四半期会計期間末					2007年度末				
	帳簿価額	時 価	差損益			帳簿価額	時 価	差損益		
			う ち	う ち				う ち	う ち	
満 期 保 有 目 的 の 金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責 任 準 備 金 対 応 の 金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他 の 金 銭 の 信 託	1,464	1,519	54	70	△ 16	2,110	2,704	594	594	—



### 3.四半期貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	2008年度 第3四半期会計期間末 (2008年12月31日 現在)	2007年度末 要約貸借対照表 (2008年3月31日 現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金及び預貯金	20,296	30,647
金 銭 の 信 託	97,625	106,719
有 価 証 券	1,511,080	1,564,824
(うち国債)	(109,810)	(101,960)
(うち地方債)	(9,855)	(9,614)
(うち社債)	(137,724)	(195,912)
(うち株式)	(36,902)	(57,270)
(うち外国証券)	(197,614)	(181,852)
貸 付 金	10,593	12,845
保険約款貸付	6,081	6,602
一般貸付	4,511	6,242
有形固定資産	33,662	33,688
無形固定資産	16,225	18,668
再 保 険 貸	24,672	26,862
そ の 他 資 産	18,135	15,172
繰延税金資産	19,110	9,911
貸倒引当金	△ 34	△ 30
<b>資産の部合計</b>	<b>1,751,367</b>	<b>1,819,310</b>
(負債の部)		
保険契約準備金	1,676,289	1,710,660
支払備金	10,253	10,567
責任準備金	1,660,720	1,693,922
契約者配当準備金	5,315	6,170
代 理 店 借	1,273	1,931
再 保 険 借	836	735
そ の 他 負 債	43,954	47,917
未払法人税等	69	92
そ の 他 の 負 債	43,884	47,824
役員賞与引当金	14	7
退職給付引当金	4,340	3,649
価格変動準備金	1,673	1,561
<b>負債の部合計</b>	<b>1,728,381</b>	<b>1,766,463</b>
(純資産の部)		
資 本 金	48,400	48,400
利 益 剰 余 金	△ 26,284	6,170
その他利益剰余金	△ 26,284	6,170
繰越利益剰余金	△ 26,284	6,170
株 主 資 本 合 計	22,115	54,570
その他有価証券評価差額金	870	△ 1,722
評価・換算差額等合計	870	△ 1,722
<b>純資産の部合計</b>	<b>22,986</b>	<b>52,847</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,751,367</b>	<b>1,819,310</b>

#### 4.四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	2008年度 第3四半期累計期間 (2008年 4月 1日から 2008年12月31日まで)
		金 額
<b>経 常 収 益</b>		<b>520,601</b>
保 険 料 等 収 入		<b>473,055</b>
(うち保険料)	(	326,930)
<b>資 産 運 用 収 益</b>		<b>11,023</b>
(うち利息及び配当金等収入)	(	8,563)
(うち金銭の信託運用益)	(	106)
(うち有価証券売却益)	(	2,331)
<b>そ の 他 経 常 収 益</b>		<b>36,522</b>
(うち支払備金戻入額)	(	313)
(うち責任準備金戻入額)	(	33,202)
<b>経 常 費 用</b>		<b>563,498</b>
保 険 金 等 支 払 金		<b>270,165</b>
(うち保険金)	(	31,667)
(うち年金)	(	8,761)
(うち給付金)	(	17,682)
(うち解約返戻金)	(	43,572)
(うちその他返戻金)	(	1,890)
<b>責 任 準 備 金 等 繰 入 額</b>		<b>4</b>
契約者配当金積立利息繰入額		4
<b>資 産 運 用 費 用</b>		<b>244,442</b>
(うち支払利息)	(	612)
(うち有価証券売却損)	(	4,887)
(うち有価証券評価損)	(	16,674)
(うち金融派生商品費用)	(	4,346)
(うち特別勘定資産運用損)	(	216,425)
<b>専 業 費</b>		<b>40,850</b>
<b>そ の 他 経 常 費 用</b>		<b>8,035</b>
<b>経 常 損 失</b>		<b>42,897</b>
<b>特 別 利 益</b>		<b>-</b>
<b>特 別 損 失</b>		<b>121</b>
固定資産等处分損		9
価格変動準備金繰入額		112
<b>契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額</b>		<b>36</b>
<b>税 引 前 四 半 期 純 損 失</b>		<b>43,055</b>
<b>法 人 税 及 び 住 民 税</b>		<b>69</b>
<b>法 人 税 等 調 整 額</b>		<b>10,670</b>
<b>四 半 期 純 損 失</b>		<b>32,454</b>

## 注記事項

(四半期貸借対照表及び株主資本等変動計算書関係)

2008年度第3四半期会計期間末

1. 重要な会計処理の原則及び手続の変更  
「リース取引に関する会計基準」(2007年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(2007年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)に伴い、当期より同会計基準及び同指針を適用しております。  
この変更による損益への影響はございません。
2. 簡便な会計処理
  - ① 貸倒引当金の計上方法  
個別の予想損失額を引き当てている債権以外の債権に対する貸倒引当金は、2008年3月期の予想損失率を適用しております。
  - ② 税金費用の計算  
法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定しております。
3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。
 

イ. 前年度末現在高	6,170 百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	896 百万円
ハ. 利息による増加	4 百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	36 百万円
ホ. 当第3四半期会計期間末現在高	5,315 百万円
4. 担保に供されている資産の額は、有価証券 570 百万円であります。
5. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当四半期 会計期間末 株式数
発行済株式	
普通株式	20
優先株式 A	51,990
優先株式 B	7,990
優先株式 C	620
優先株式 E	16,000
優先株式 F	764
優先株式 S	30,000
合計	107,384
自己株式	
普通株式	-
合計	-

6. 株主資本の金額の著しい変動

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
前期末残高	48,400	-	6,170	-	54,570
当第3四半期会計期間 末までの変動額					
四半期純利益	-	-	△32,454	-	△32,454
当第3四半期会計期間 末までの変動額合計	-	-	△32,454	-	△32,454
当第3四半期会計期間 末残高	48,400	-	△26,284	-	22,115

## 注記事項

(四半期損益計算書関係)

2008年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は1,688,199,589円71銭であります。潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## 5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		2008年度 第 3 四 半 期 累 計 期 間
基礎利益	A	△ 17,280
キャピタル収益		2,437
金銭の信託運用益		106
売買目的有価証券運用益		—
有価証券売却益		2,331
金融派生商品収益		—
為替差益		—
その他キャピタル収益		—
キャピタル費用		26,166
金銭の信託運用損		—
売買目的有価証券運用損		—
有価証券売却損		4,887
有価証券評価損		16,674
金融派生商品費用		4,346
為替差損		257
その他キャピタル費用		—
キャピタル損益	B	△ 23,728
キャピタル損益含み基礎利益	A + B	△ 41,009
臨時収益		1,408
再保険収入		—
危険準備金戻入額		—
その他臨時収益		1,408
臨時費用		3,296
再保険料		—
危険準備金繰入額		460
個別貸倒引当金繰入額		1
特定海外債権引当勘定繰入額		—
貸付金償却		—
その他臨時費用		2,834
臨時損益	C	△ 1,887
経常利益	A + B + C	△ 42,897

（注）

- 1 その他臨時収益は、契約条件変更に基づく早期解約控除額です。
- 2 その他臨時費用は、移転保険契約価値償却です。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項目	2008年度 第3四半期 会計期間末	2007年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	112,042	140,332
資本金等	22,115	54,570
価格変動準備金	1,673	1,561
危険準備金	26,814	26,353
一般貸倒引当金	8	4
その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	1,227	△2,700
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	5,421	5,475
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	22,532	19,316
負債性資本調達手段等	32,217	32,217
控除項目	-	-
その他	32	3,534
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	24,447	21,783
保険リスク相当額 $R_1$	2,308	2,463
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	1,332	1,270
予定利率リスク相当額 $R_2$	45	47
資産運用リスク相当額 $R_3$	14,507	13,422
経営管理リスク相当額 $R_4$	809	493
最低保証リスク相当額 $R_7$	8,802	7,489
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	916.6%	1288.4%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び第190条、1996年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。(「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています。)

- 「資本金等」は、貸借対照表の「純資産の部合計」から、その他有価証券評価差額金を控除した額を記載しています。
- 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末		2007年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額保険		4,415		5,273
個人変額年金保険		1,153,249		1,173,637
団体年金保険		—		—
特別勘定計		1,157,665		1,178,910

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位：千件、百万円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末		2007年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険（有期型）	0	1,644	0	1,821
変額保険（終身型）	2	7,155	2	7,510
変額積立特約	—	1,177	—	1,189
合 計	3	9,976	3	10,521

#### ・個人変額年金保険

(単位：千件、百万円)

区 分	2008年度 第3四半期会計期間末		2007年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	227	1,156,334	192	1,184,054
合 計	227	1,156,334	192	1,184,054

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

連結会社の該当はありません。



(参考) 第3四半期会計期間の業績

・新契約高

(単位：千件、億円)

区分	2008年度第3四半期会計期間			
	件数	金額		
		新契約	転換による純増加	
個人保険	25	1,125	1,159	△34
個人年金保険	7	516	516	—
団体保険	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—

- (注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。  
 2. 新契約の個人年金保険の金額は、新契約時の基本保険金額です。

・新契約年換算保険料

(単位：百万円)

区分	2008年度 第3四半期 会計期間
個人保険	6,954
個人年金保険	5,178
合計	12,133
うち医療保障・ 生前給付保障等	6,018

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。  
 2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。  
 3. 年換算保険料（新契約）は、新契約に、転換による純増加を加えた数値です。

## ・ 損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	2008年度 第3四半期会計期間 (2008年10月 1日から 2008年12月31日まで)
	金 額
<b>経 常 収 益</b>	<b>185,243</b>
保 険 料 等 収 入	91,730
(うち保険料)	(76,644)
<b>資 産 運 用 収 益</b>	<b>2,989</b>
(うち利息及び配当金等収入)	(2,743)
(うち金銭の信託運用益)	(89)
(うち有価証券売却益)	(148)
<b>そ の 他 経 常 収 益</b>	<b>90,523</b>
(うち責任準備金戻入額)	(89,641)
<b>経 常 費 用</b>	<b>209,249</b>
<b>保 険 金 等 支 払 金</b>	<b>56,781</b>
(うち保険金)	(10,510)
(うち年金)	(3,397)
(うち給付金)	(6,182)
(うち解約返戻金)	(14,013)
(うちその他返戻金)	(458)
<b>責 任 準 備 金 等 繰 入 額</b>	<b>390</b>
支 払 備 金 繰 入 額	389
契約者配当金積立利息繰入額	1
<b>資 産 運 用 費 用</b>	<b>138,371</b>
(うち支払利息)	(199)
(うち有価証券売却損)	(309)
(うち有価証券評価損)	(9,897)
(うち金融派生商品費用)	(1,270)
(うち特別勘定資産運用損)	(125,630)
<b>専 業 費</b>	<b>11,247</b>
<b>そ の 他 経 常 費 用</b>	<b>2,458</b>
<b>経 常 損 失</b>	<b>24,005</b>
<b>特 別 利 益</b>	<b>-</b>
<b>特 別 損 失</b>	<b>39</b>
固 定 資 産 等 処 分 損	9
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	30
<b>契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額</b>	<b>10</b>
<b>税 引 前 四 半 期 純 損 失</b>	<b>24,055</b>
<b>法 人 税 及 び 住 民 税</b>	<b>23</b>
<b>法 人 税 等 調 整 額</b>	<b>5,471</b>
<b>四 半 期 純 損 失</b>	<b>18,606</b>

・ 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		2008年度 第 3 四 半 期 会 計 期 間
基礎利益	A	11,776
キャピタル収益		237
金銭の信託運用益		89
売買目的有価証券運用益		-
有価証券売却益		148
金融派生商品収益		-
為替差益		-
その他キャピタル収益		-
キャピタル費用		12,088
金銭の信託運用損		-
売買目的有価証券運用損		-
有価証券売却損		309
有価証券評価損		9,897
金融派生商品費用		1,270
為替差損		610
その他キャピタル費用		-
キャピタル損益	B	11,850
キャピタル損益含み基礎利益	A + B	23,626
臨時収益		571
再保険収入		-
危険準備金戻入額		-
その他臨時収益		571
臨時費用		950
再保険料		-
危険準備金繰入額		5
個別貸倒引当金繰入額		0
特定海外債権引当勘定繰入額		-
貸付金償却		-
その他臨時費用		944
臨時損益	C	379
経常利益	A + B + C	24,005

（注）

- 1 その他臨時収益は、契約条件変更に基づく早期解約控除額です。
- 2 その他臨時費用は、移転保険契約価値償却です。

参考

## 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

2008年12月末時点での、当社における証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資は、以下の通りです。

①特別目的事業体(SPEs)一般

該当ありません。

②債務担保証券(CDO)

該当ありません。

③その他サブプライム・Alt-Aエクスポージャー

該当ありません。

④商業用不動産担保証券(CMBS)

該当ありません。

⑤レバレッジド・ファイナンス

該当ありません。

⑥ その他-住宅ローン債権担保証券(RMBS)

(単位:百万円)

投資対象	時価	含み損益	実現損益
住宅金融支援機構(旧住宅金融公庫)債券	684	11	-